

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental Information Engineering SeminarⅠ）		
ナンバリングコード	R30401	大分類／難易度 科目分野	環境情報学専攻／応用レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1年／通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001103	クラス名	吉村研究室
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、 履修条件	特別演習は指導を受けるときだけでなく、普段からの取り組みが重要です。しっかりと取り組んで下さい。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	受講生の研究課題により、適切なものを指定します。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅱ、環境情報学特別研究		

○基本情報		
授業の目的	交通計画や都市計画を行う際には、現在の社会現象、交通現象などを的確に捉え、その本質を見極める必要があります。本演習では、交通統計データやアンケートデータを計算機を用いて加工、単純集計、クロス集計を行い、現象の特徴を見いだす手法について習得します。さらに、統計検定、数量化理論などの解析方法を演習により体得し、現象を正しく説明できる技術を習得します。これらの内容について、手順、成果などをまとめ、論文作成の過程を体得します。	
授業の概要	研究テーマに沿った演習を行います。研究内容により、交通現象を解析、まちづくりを進めるための調査、数値シミュレーション、解析、評価手法などを扱います。特に大分での事例を扱った研究や大分での実践活動をベースに進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅠ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	統計検定、数量化理論などの解析方法の前提となる実社会のデータを自ら適切な手法(アンケート等)で入手できる。		5%	5%
【ディプロマ・ポリシー②】	交通統計データやアンケートデータを計算機を用いて加工、単純集計、クロス集計を行い、現象の特徴を見いだすことができる。		15%	15%
【ディプロマ・ポリシー③】	①統計検定、数量化理論などの解析方法を演習により体得し、現象を正しく説明できる技術を習得できる。②上記の内容について、手順、成果などをまとめ、論文作成の過程を体得できる。		30%	30%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

--

